

科目名	時間数 [単位数]	実施方法 (全科目:オンデマンド)	講義等の内容	単位認定 方法
(以下、必修科目) 生涯学習概論	30 [2単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯学習・生涯教育論の展開と学習の実際 2. 生涯学習社会における家庭教育・学校教育・社会教育の役割と連携 3. 生涯学習振興施策の立案と推進 4. 教育の原理とわが国における社会教育の意義・発展・特質 5. 社会教育行政の意義・役割と一般行政との連携 6. 自治体の行財政制度と教育関連法規 7. 社会教育の内容・方法・形態 (学習情報の提供と学習相談、評価を含む) 8. 学習への支援と学習成果の評価と活用 9. 社会教育施設・生涯学習関連施設の管理・運営と連携 10. 社会教育指導者の役割 	レポート
図書館概論	30 [2単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の現状と動向 2. 図書館の構成要素と機能 3. 図書館の社会的意義 (※ ユネスコ公共図書館宣言、地域社会と図書館を含む) 4. 知的自由と図書館 (図書館の自由に関する宣言等) 5. 図書館の歴史 6. 公立図書館の成立と展開 7. 館種別図書館と利用者のニーズ 8. 図書館職員の役割と資格 9. 図書館の類縁機関・関係団体 (文書館、※ 点字図書館、病院患者図書館を含む) 10. 図書館の課題と展望 	レポート
図書館情報技術論	30 [2単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータとネットワークの基礎 2. 情報技術と社会 3. 図書館における情報技術活用の現状 4. 図書館業務システムの仕組み (ウェブサイトによる情報の発信を含む) 5. データベースの仕組み 6. 検索エンジンの仕組み 7. 電子資料の管理技術 8. コンピュータシステムの管理 (ネットワークセキュリティ、ソフトウェア及びデータ管理を含む) 9. デジタルアーカイブ 10. 最新の情報技術と図書館 	レポート
図書館制度・経営論	30 [2単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地方公共団体の仕組み 2. 公共機関・施設の経営方法 3. 図書館の組織・図書館員 4. 図書館の施設・設備 5. 図書館のサービス計画と予算の確保 6. 図書館業務・サービスの調査と評価 7. 図書館の管理形態の多様化 8. 大学図書館、学校図書館の経営 9. 国立国会図書館、専門図書館の経営 10. 図書館関連法規 11. 図書館法 12. 他館種の図書館に関する法律など 13. 図書館サービス関連法規(※ 読書バリアフリー法など) 14. 図書館政策 15. これからの展望 	レポート

科目名	時間数 [単位数]	実施方法 (全科目:オンデマンド)	講義等の内容	単位認定 方法
図書館サービス概論	30 [2単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館サービスの考え方と構造 2. 図書館サービスの変遷(図書館法制定以降) 3. 資料提供サービスの基本(利用案内・貸出・予約サービスの流れと相互の関係) 4. 情報提供の形態と機能(レファレンスサービス, 情報発信, 講座・セミナー) 5. 図書館サービスの連携・協力(図書館ネットワークの意義と形態) 6. 課題解決支援サービス 7. ※障害者サービス 8. 高齢者サービス, 多文化サービス 9. 図書館サービスと著作権 10. 利用者に対する接遇・コミュニケーション, 広報 	試験
情報サービス論	30 [2単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報社会と図書館の情報サービス 2. 図書館における情報サービスの意義と種類(レファレンスサービス, レフェラルサービス, カレントアウェアネスサービス, 読書相談, 利用案内等) 3. レファレンスサービスの理論(利用者の情報行動, レファレンスプロセス, 事例の活用, 組織と担当者, サービスの評価等) 4. レファレンスサービスの実際(レファレンスサービスの体制づくり・実施・普及, 現状と問題点等) 5. 情報検索サービスの理論と方法 6. 各種情報源の特質と利用法 7. 各種情報源の解説と評価(参考図書, ネットワーク情報資源等を含む) 8. 各種情報源の組織化(二次資料の作成, 情報発信を含む) 9. 発信型情報サービスの意義と方法 10. 図書館利用教育(情報リテラシーの育成を含む) 	レポート
児童サービス論	30 [2単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童サービスの定義と目的および意義・子どもの発達と読書 2. 児童サービスのあゆみと現状 3. 児童サービスの担当者の業務, 養成と研修 4. さまざまな児童資料(種類と特性) 5. さまざまな児童資料(選書) 6. 子どもと本をつなぐ方法(読み聞かせ, ストーリーテリング, ブックトーク, ビデオバトル, 読書へのアニメーション, 展示・POPなど) 7. 乳幼児サービス・ヤングアダルトサービス 8. DX化の進行と子どもたちの読書環境・オンライン活用した児童サービス 9. オンライン活用で学習支援・デジタルアーカイブの活用 10. 誰一人取り残さない児童サービス(※SDGsへの認識と読書バリアフリー法) 	レポート
情報サービス演習 I (情報検索)	60 [2単位]	演習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報サービスと情報検索の基礎 2. 検索語の理解(自然語・統制語・シソーラス) 3. 検索式の構築(論理演算・トランケーション等) 4. 情報検索システムとDB操作の基礎 5. 図書情報の検索 6. 雑誌・雑誌記事情報の検索 7. 新聞記事情報の検索 8. テーマ別情報の検索(言葉・統計・歴史・地理) 9. 人物・企業・団体・法令・特許の検索 10. 検索結果の評価・回答作成・発信型情報サービス 	試験
情報サービス演習 II (レファレンス)		演習	<ol style="list-style-type: none"> 1. レファレンスサービスの概要と意義 2. レファレンスサービスの体制づくり 3. レファレンスコレクションの整備 4. 基本参考資料の理解(辞書・事典・年鑑・統計等) 5. テーマ別参考資料の理解(地理/歴史/人物/法令等) 6. レファレンスインタビューの技法 7. 質問分析と情報源選択 8. 検索と回答作成の技法 9. レファレンス事例の作成・評価 10. 発信型情報サービス(利用案内・パスファインダー等) 	レポート

科目名	時間数 [単位数]	実施方法 (全科目:オンデマンド)	講義等の内容	単位認定 方法
図書館情報資源概論	30 [2単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会における図書館情報資源の意義: 図書館情報資源とは、どのようなものなのか、社会における存在意義 2. 近現代の日本における図書館情報資源の取り扱いの歴史: 図書館情報資源が近現代の日本においてどのように取り扱われてきたのか、その歴史 3. 活字印刷資料の概要: 図書館において大きな位置を占めている、活字印刷資料全般の概要 4. 非印刷資料の概要: 書写資料・※点字資料・録音資料・マイクロフィルム資料・映像資料・音声資料等の概要 5. 電子資料の概要: パッケージ系電子メディアとネットワーク情報資源等の概要 6. 日本の出版流通システム: 日本の出版流通システムの現況と図書館との関係性 7. 図書館の自由と情報資源(1): 近代における図書館の自由と情報資源の関係の歴史 8. 図書館の自由と情報資源(2): 図書館の自由と情報資源の収集・提供の在り方 9. 情報資源の収集と選書(1): 情報資源の収集と選書に係る理論と実践、方針の策定と公表 10. 情報資源の収集と選書(2): ※ 図書館利用における障害者や高齢者、外国人利用者のための情報資源収集 11. 蔵書管理の方法等: 図書館現場における、蔵書管理・蔵書点検の方法の実際と在り方 12. 情報資源組織化の概要と現況: 情報資源の受け入れ・整理・登録・装備等、組織化の概要と現況 13. 書庫管理・資料保存方法等: 図書館現場における書庫管理の実際、資料保存方法等の在り方 14. 図書館情報資源に係る予算等: 図書館情報資源の収集・組織化・保存・提供等に係る予算の在り方や、図書館現場の実情 	試験
情報資源組織論	30 [2単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報資源組織化の意義と理論 2. 書誌コントロールと標準化 3. 書誌記述法 (主要な書誌記述規則) 4. 主題分析の意義と考え方 5. 主題分析と分類法 (主要な分類法) 6. 主題分析と索引法 (主要な統制語彙) 7. 書誌情報の作成と流通 (MARC、書誌ユーティリティ) 8. 書誌情報の提供 (OPACの管理と運用) 9. ネットワーク情報資源の組織化とメタデータ 10. 多様な情報資源の組織化 (地域資料、行政資料、※点字図書等) 	試験
情報資源組織演習 I (目録)	60 [2単位]	演習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資料の組織化と目録の基礎 2. 日本目録規則2018年版(NCR2018)の概要 3. 体现形の記録(図書) 4. 体现形の記録(逐次刊行物・新聞・雑誌) 5. 体现形の記録(地図・視聴覚資料・その他資料) 6. 著作・表現形の記録 7. 個人・団体・家族などの典拠記録 8. アクセス・ポイントの構築(タイトル・著者・件名など) 9. 関連の記録と典拠管理(統一標目・排列など) 10. MARC・OPAC・ネットワーク情報資源のメタデータ 	試験
情報資源組織演習 II (分類)		演習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 書誌データ作成の基礎(記述・主題・典拠の連携) 2. 主題分析(内容の把握と主題抽出) 3. 分類作業の基礎(日本十進分類法:NDC新訂10版の構造理解) 4. NDC本表の利用(0類~9類の分類付与) 5. 一般補助表・相関索引の利用 6. 図書記号・別置記号の付与 7. 統制語彙(基本件名標目表:BSH第4版 件名規程等)の適用8. 集中化・共同化による書誌データ作成 9. 書誌データ管理・検索システムの基礎 10. ネットワーク情報資源のメタデータ作成と総合演習 	試験

科目名	時間数 [単位数]	実施方法 (全科目:オンデマンド)	講義等の内容	単位認定 方法
(以下、選択科目) 図書館情報資源特論 (アーカイブズ資料論)	15 [1単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書館とアーキビスト 2. アーカイブズの歴史 3. 国際状況と規格化 4. レコード・マネジメント 5. 行政文書と地域史料の扱い 6. 電子情報と情報技術 7. アーカイブズ関連法令 8. 公開と不開示 	レポート
図書館サービス特論 (学校図書館サービス論)	15 [1単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入:我が国における学校図書館行政 2. 学校図書館の歴史 3. 学校図書館サービスの考え方 4. 「直接的な教育活動」としての学校図書館 5. 学習・情報センターとしての学校図書館 6. 読書センターとしての学校図書館 7. 図書館活用教育 8. ※ 学校図書館における「特別なニーズ」をもつ児童・生徒への読書・学習支援 9. 理想とする学校図書館づくり 	レポート
図書館基礎特論 (大学図書館論)	15 [1単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学図書館の特長と概略 2. わが国の大学図書館の歴史と概要 3. 近年の大学図書館の動向と課題 	レポート
図書・図書館史	15 [1単位]	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 五大文明と文字の誕生、古代ギリシア・ローマ時代の図書館 2. 中世ヨーロッパの修道院図書館 3. 活版印刷機の発明、宗教改革とルネサンスの図書館 4. 市民革命以降の近代図書館の誕生 5. 古代日本における「図書館」の誕生 6. 武家文庫と戦国期の書籍貸借ネットワーク 7. 武士の文庫・出版業界の確立と蔵書の家 8. 近現代日本と図書館 	レポート